

# 深い学びを促し自己表現につなげる物語文の授業

土屋 進一

## はじめに

近年、教科書や大学入試問題において説明文・論説文が題材の多くを占めており、物語文が扱われることが少なくなっている。しかし、物語文を読むことは登場人物の心情変化や背景にある主題・メッセージを深く理解することで、自己表現や他者理解を促進し、学びの場をより豊かにする可能性がある。

本稿では、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説の「思考力、判断力、表現力等」における「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」に鑑み、英語コミュニケーションⅡの授業の中で、物語文の指導における題材を通じた深い学びと自己表現の指導例について紹介したい。

尚、本授業実践は、筆者が 2021 年から 4 年連続で鳥取県教育委員会より「新しい学びの創造事業『主体的・対話的で深い学び』教員スキルアップ事業」で授業助言者として招聘され、2024 年 11 月 8 日に鳥取県立米子西高等学校で行った示範授業の内容である。

## 1. 題材とねらい

題材は、『Power On II』（東京書籍）Summer Reading *Going Home* で、主人公 Vingo が、長年の別離と不確実性の中で過去の過ちと向き合い、妻との再会を求める感情を描いている。本題材を通して、生徒たちが「許し」や「希望」といった普遍的なテーマについて考え、自分自身や他者の心の動きに対する理解を深めることをねらいとした。また、描写されている英語表現を手掛かりとし、物語の登場人物の感情や行動を分析し、さらに、この物語の結末を推論することで、英語で自分の考えを表現する力を育むべく、授業を展開した。

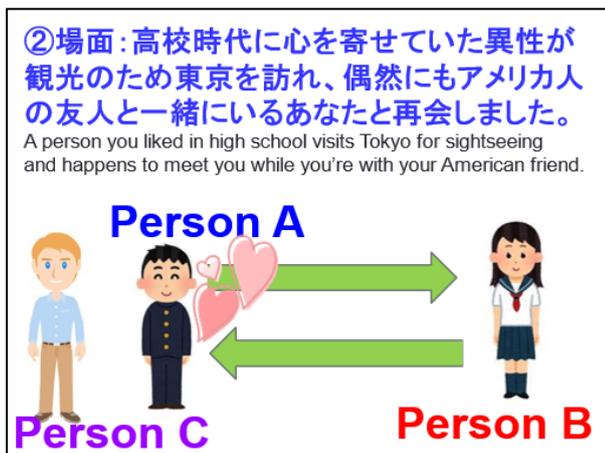
## （題材のあらすじ）

3 人の若い男女はフロリダへの旅に出発し、ワインとサンドウィッチを手に乗りに乗った。バスには、地味なスーツを着て黙って座る男性 Vingo がいた。途中、休憩でバスを降りた若者たちは、Vingo に興味を持ち、1 人の女性が話しかけたことで彼が刑務所を出て妻マーサのもとへ戻る途中だと知る。Vingo は妻に、迎え入れてくれるならオークの木に黄色いハンカチを結ぶよう頼んでいた。バスが町に近づき、若者たちが窓の外に目を向けると、オークの木は無数の黄色いハンカチで覆われていた。Vingo は静かに立ち上がり、家路に向かうためバスを降りた。

## 2. 物語文の指導における 4 つのポイント

### (1) 題材と生徒を近づけるための Role-Play

まず、物語文の読解に入る前に、生徒たちに物語の重要なテーマである「再会」を自分ごと化できる状況・場面・目的を設定し、3 人の役割を演じさせ、題材と生徒をより身近に感じさせることを目指した。この活動では、「①状況：あなたは、高校卒業後、鳥取から東京の大学に進学しました。②場面：高校時代に心を寄せていた異性が観光のため東京を訪れ、偶然にもアメリカ人の友人と一緒にいるあなたと再会しました（図 1）。③目的：再会を楽しむために会話を続けます。」とスライドで指示をし、その後、3 人グループとなって、相手の立場や心情を考えながらそれぞれ 3 種類の役割を演じた。

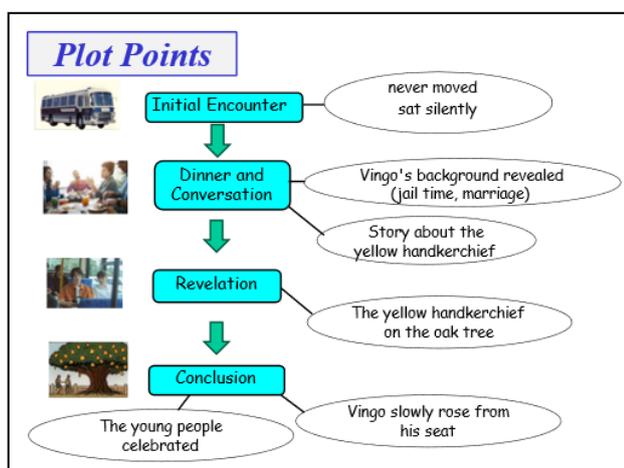


(図1)

この Role-Play 活動を通じて、物語のテーマが抽象的なものから具体的なものへと変わり、生徒たちは、物語の深い部分を理解する準備が整った。また、この活動は生徒たちの英語表現力を向上させる良い機会にもなり、物語の感情的な重さをよりリアルに感じる事ができた。

## (2) 物語の流れと感情変化を可視化するグラフィックオーガナイザー

次に、生徒たちが物語の概要をより効率的に理解できるように、グラフィックオーガナイザーを使用した。①Characters：物語の重要な出来事や登場人物、②Setting：物語の設定場面や地名、③Plot Points：物語の流れを時系列で整理し、登場人物の感情の変化を矢印やフローチャートで示した(図2)。



(図2)

生徒たちはグループで話し合いながら、物語における重要な情報をフローチャートに記入し、物語の全体像を把握した。これにより、生徒たちは物語の内容を簡潔に理解し、登場人物の感情の変化や重要な

出来事を整理した。この活動は、物語を理解するための第一歩として、非常に効果的であった。

## (3) 登場人物の心情理解を深めるオーラルインタプリテーション

物語を読み進めるうちに、次に行ったのは「オーラルインタプリテーション」という活動である。生徒たちは、物語の一部を自分たちの言葉で再解釈して音読を行い、表現することで、より深い内容理解を目指した。特に、Vingo の心情の変化や妻との再会の場面に焦点を当て、どのような気持ちが裏にあるのかを考えながら音読を行った。次の図3の場面は、バス内で知り合った1人の女性が、Vingo の辛い過去を知り、重苦しく口を開いて質問する場面である。

The woman: "Are you married?"

Vingo: "Maybe."

The woman: "You don't know?"

Vingo: "Well, when I was in jail, I wrote to my wife. I said, 'Martha, I understand if you can't stay married to me.' I said I was going to be away for a long time, and that if she couldn't stand it, if the kids kept asking questions, if it hurt her too much, well, she could just forget me. Get a new guy —she's a wonderful woman—and forget about me. I told her not to write to me or visit. And she didn't. Not for four years."

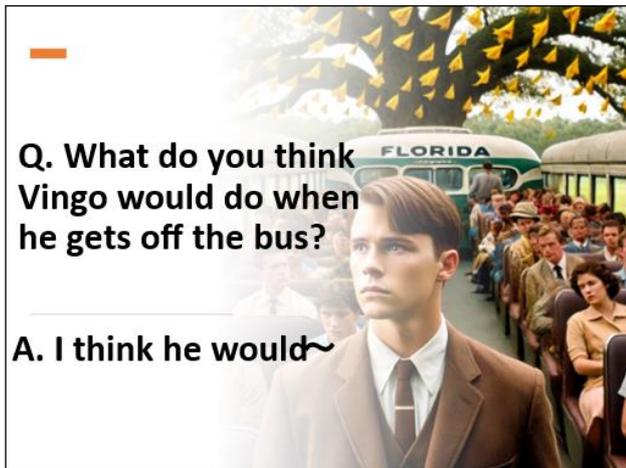
(図3)

この活動を通じて、生徒たちは物語の深層に潜む感情を読み解く力を養った。例えば、Vingo の不安や希望、再会への期待といった複雑な感情を、声のトーンを工夫したり、読む単語に強弱をつけたりすることで、登場人物の心の動きがより鮮明に感じられるようになったであろう。また、オーラルインタプリテーションを通じて、英語で感情を表現する練習にもなり、実際のコミュニケーションにおいても役立つスキルを身につける事ができた。

## (4) 推論を通じた物語の理解と自己表現

最後に、深い読みを促進するために、推論を取り入れた。この活動では、物語の中で Vingo がどのように妻と再会するのか、その背景にある心情や動機

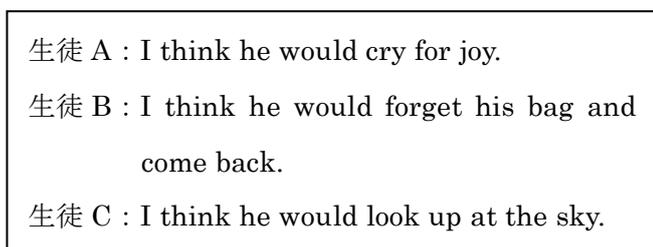
を推測させた。例えば、Vingo が妻と再会した後にどんな行動を取ったかを生徒に問い、彼らにその内容を自分の言葉で説明させた (図 4)。



(図 4)

推論を通じて、生徒たちは物語の中で明示的に描かれていない部分を自分で補い、登場人物の行動や言葉の裏に隠された意味を理解しようとした。推論を行うことで、生徒たちは物語のテーマを自分自身の体験や価値観に照らし合わせて考え、英語での表現力も高めることができた。このタスクに取り組むにあたり、Google Workspace の Spreadsheet を活用すると、生徒のライティングの様子をクラス全員で共有できるのでおすすめしたい。実際に、生徒が創作した作品をいくつかご紹介したいと思う。

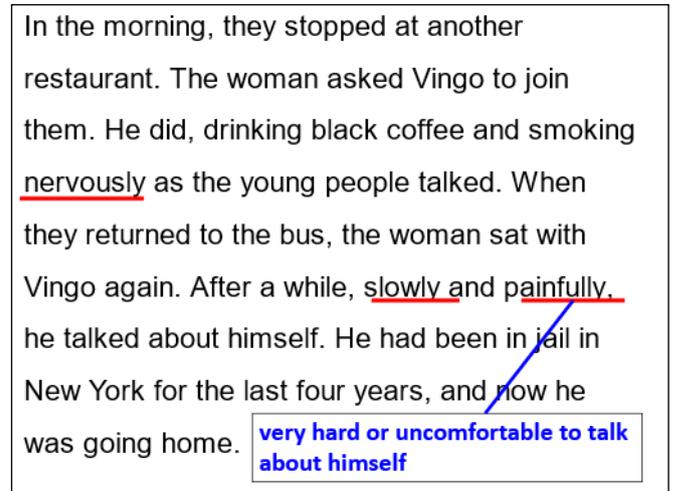
図 5 で示したように、生徒から興味深いさまざまな発想が出てきた。生徒 A は、Vingo が長年待つてくれた妻に対する感情が爆発した点を表現している。生徒 B は、バッグをバスに置き忘れてしまう Vingo の再会への期待に胸を躍らせた様子と完全な興奮状態を見事に表現している。生徒 C は、興奮よりも空を眺めることで長年の惜別の思いを回想している冷静さと複雑な心境を描写している。このように生徒 1 人 1 人がさまざまな解釈で、自由に英語で表現することはまさに、「思考・判断・表現」を伴った活動であるといえよう。



(図 5 : 生徒が創作した作品)

### 3. 物語を読むための文法的アプローチ

(1) 教科書 68 ページ 1~18 行目のバスの中で女性が Vingo に話しかける場面では、副詞に注目しながら生徒に深い思考を促した上で、前節 2 (3)で述べたオーラルインタープリテーションに取り組んだ。

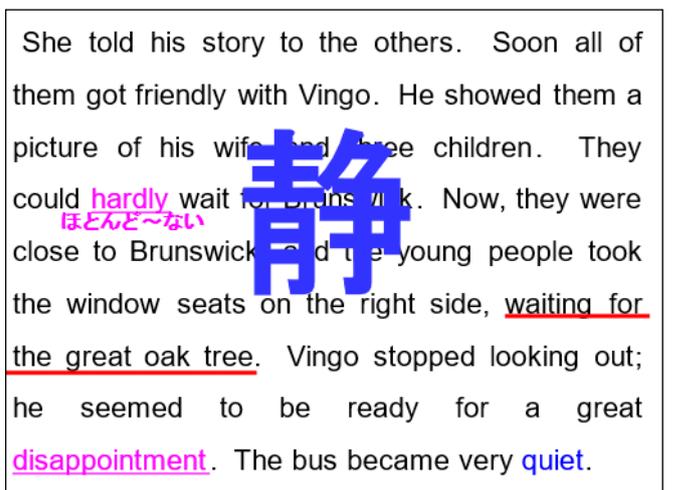


(図 6)

副詞は、物語の中で主人公と登場人物の動作を詳細に描写する働きがあり、どのような声のトーンで、あるいはどの語に強弱をつけて音読したらよいかを思考する手掛かりと言えよう。

(2) 教科書 70 ページ 1~15 行目のバスの中で全員がオークの木を待つ場面では、分詞構文に注目し、主文との関係を考察しながら、情景描写や心情表現の効果を分析した。

図 7 の英文では、waiting for the great oak tree. を、and waited for the great oak tree.のように、分詞構文を用いない形で比較し、物語の中での重要な瞬間を生き生きと描写する手法を解説した。



(図 7)

図8の英文では、分詞構文の **screaming and shouting** や **blowing** が、情景描写や心情表現をより豊かにしていることを確認した。

Then suddenly, all of the young people **jumped up** from their seats, **screaming and shouting**. Vingo was amazed when he looked at the oak tree. It was covered with yellow handkerchiefs, twenty of them, **thirty** of them maybe hundreds. The tree stood like a hand of welcome, **blowing** in the wind. As the young people celebrated, Vingo **slowly rose** from his seat. He then **made his way** to the front of the bus to go home.

(図8)

さらに、図7と図8では、場面が「静」から「動」へと変化する躍動感のようなものを感じ取ることができることも分詞構文を手掛かりとして鑑賞できる視点も述べた。このアプローチは、指導した生徒だけでなく、参観された先生方からも高い評価と感銘の声が寄せられた。

#### 4. おわりに

本稿では、鳥取県立米子西高等学校での示範授業をもとに、英語コミュニケーションⅡの授業における物語文の指導例をレポートさせていただいた。他校において初対面で「はじめまして」からスタートする極めてハードルの高い授業であっても、生徒が主体的に学ぶ姿勢を引き出す工夫と生徒同士の対話や意見交換の機会をうまく授業内に取り込めれば、授業は効果的に活性化されるということを改めて感じた。

冒頭でも述べたように、新学習指導要領の「思考力・判断力・表現力等」における「情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項」に鑑みた授業を今後も行っていきたい。

#### 謝辞

本授業を行うにあたり、鳥取県立米子西高等学校の英語科の先生方には、授業当日のサポートのみな

らず、授業実施に至るまでの打合せにおいても多大なるご協力をいただきました。また、参観して下さった鳥取県内の他の高等学校の先生方にも、授業後の研究協議会にて貴重なご意見・ご感想を賜りました。

ここに心より感謝申し上げます。



#### 参考文献

- 土屋進一. (2021). 「鳥取県『新しい学びの創造事業『主体的・対話的で深い学び』教員スキルアップ事業』の実践報告」. 英語実践事例シリーズ No.1.
- 土屋進一. (2022). 「ICTを活用し生徒が生き活きと活動できる英語授業」. 東京書籍ホームページ. 英語実践事例シリーズ No.10.
- 土屋進一. (2023). 「新しい学習指導要領に基づく論理・表現の文法指導」. 東京書籍ホームページ. 英語実践事例シリーズ No.22.
- 文部科学省. (2018). 高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 解説 外国語編 英語編. 文部科学省.

#### 【お問い合わせ】

今回の示範授業で使用した **①指導案 ②パワーポイント資料 ③ワークシートの3点(いずれもPDF)**をご希望の方は、下記のメールアドレスにお名前・ご勤務先・この記事に関するご意見・ご感想・ご質問などをお書きの上、送信してください。資料は1週間以内に必ずお送りいたします。また、講演・示範授業のお問い合わせもお待ちしております。

tsuchiya@bunri-c.ac.jp